

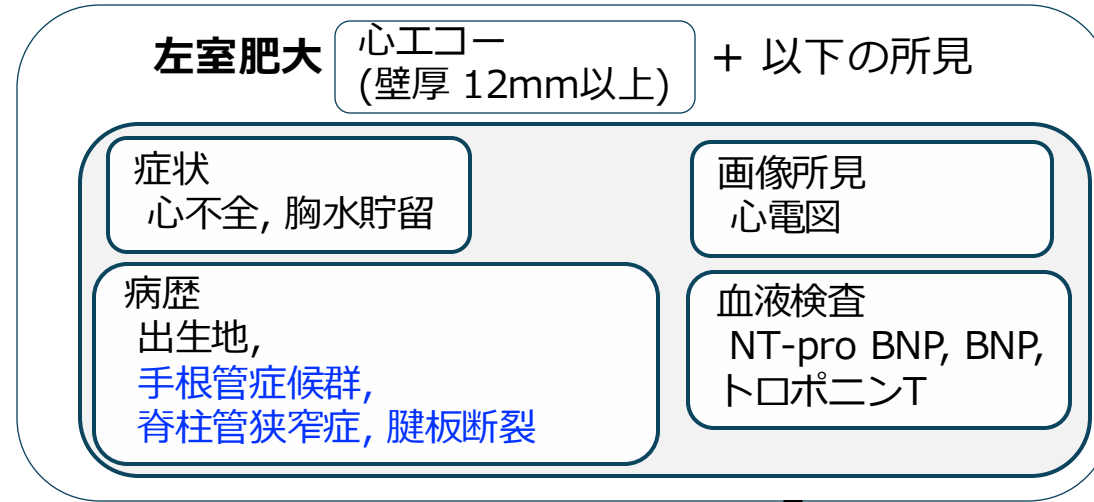
# 心アミロイドーシスの診断と治療に関して

---

- 心アミロイドーシスは、変異した蛋白(アミロイド蛋白)が心臓に沈着することで、心臓肥大や心不全、不整脈をきたす心臓の病気です。主に心アミロイドーシスを来す疾患は、ALアミロイドーシス、野生型トランスサイレチンアミロイドーシス、遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシスになります。特に、高齢化が進む中で加齢が原因となる野生型トランスサイレチン心アミロイドーシスの診断頻度は増加しています。
- 当院では、心臓超音波検査、心臓MRI、核医学検査、カテーテルによる冠動脈造影・心筋生検、遺伝学的検査などを行い、正確な診断・治療を実践しています。
- トランスサイレチン心アミロイドーシスの診断後、遺伝子変異を評価し、タファミジス(ビンマック<sup>®</sup>/ビンダゲル<sup>®</sup>)の処方やSiRNA(mRNAといった核酸を利用した薬剤)治療を行っています。
- ALアミロイドーシスの診断や治療は、血液内科と連携して行っています。
- 症状に応じて、神経内科とも連携して治療を行っています。
- 当院では、2019年～2024年9月まで、心アミロイドーシス診療 98名、タファミジス処方 56名、SiRNA治療 2名に行っています。

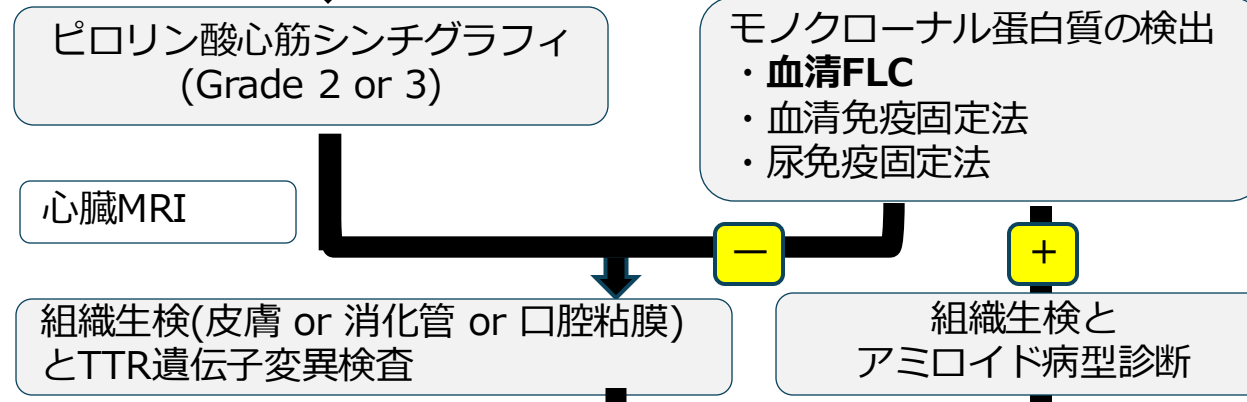
# 産業医科大学病院での、 心アミロイドーシス診断手順を示します (ガイドラインを参考に)

外来1日目  
(初回スクリーニング)



外来で組織診断が見つからない場合、  
入院後に心筋生検を行います。

外来2日目



症状に応じて  
神経内科へご紹介

トランスサイレチン心アミロイドーシス  
(野生型/遺伝性)

血液内科へご紹介  
ALアミロイドーシス

診断後に難病申請を行います。  
薬剤の適応、導入を検討します。

# お気軽にご紹介・ご相談下さい



## ご紹介いただくタイミング

- 心エコーによる心肥大所見
- BNP上昇
- コントロール困難な心不全
- 原因不明の胸水貯留
- 手根管症候群の病歴があり、息切れ、動悸症状を伴う場合

## かかりつけ医・地域の基幹病院

- 心不全の管理、指導
- 新規薬剤の継続処方
- 副作用の確認、報告

患者さんのご紹介



検査結果・  
経過報告  
継続治療の依頼

## 産業医科大学病院 循環器内科

- アミロイドーシス診断
- 特定疾患の申請・更新
- 新規薬剤の適応を検討
- 処方後の副作用を評価
- 定期的な検査
- 心不全増悪時の対応

第2内科学医局 (直通)

093-691-7436

dai2naika-i@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

